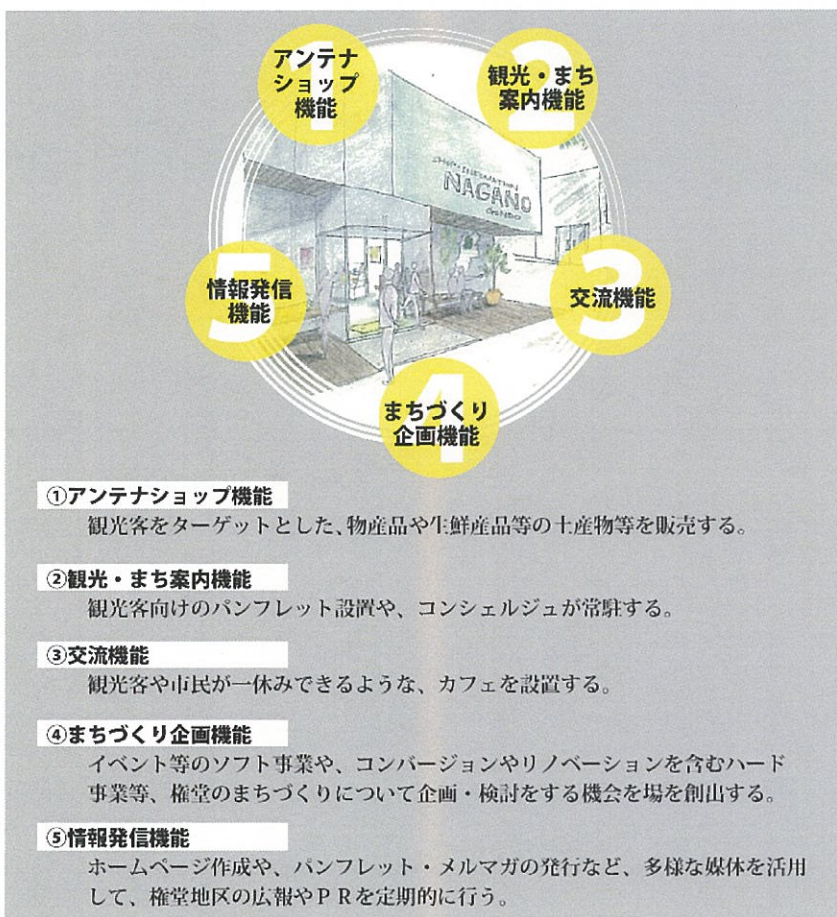


A-1：整備方針

- 1) 権堂地区内へ市民と観光客を“誘う”情報発信拠点を整備する。
- 2) 市民を対象としたまちづくり交流機能とともに、観光客を対象とした、長野や権堂の観光案内や特産品販売によるアンテナショップ機能を持たせる。
- 3) まちづくり交流機会を含む施設の管理・運営を手始めに、地区全体の管理運営主体へと発展する組織（＝（仮称）権堂まちづくりセンター）の基地として位置付ける。

A-2：整備イメージ



【 情報発信 拠点の想定条件 】

● 広さ



● 家賃・光熱費

15万円／月 前後

まちづくり組織とその“基地”参考事例

株式会社株式会社御祓川^{みそぎがわ} [石川県七尾市]

- ・御祓川と沿川の賑わい再生を目指し、地元の積極的な活動メンバーが集まって設立されたまちづくり会社。
- ・地元の水質浄化技術関連企業に呼び掛け、御祓川の浄化のための装置を開発、管理・運営を行っている。
- ・行政等と連携し、御祓川沿いに貸店舗や拠点施設の整備等を行っている。
- ・所有者より「しるべ蔵」を譲り受け、まちづくり活動の事務局拠点として“情報交差点”の機能を持つ「まちづくり会館」を整備。
- ・運営資金は、クレソンケーキ（御祓川の浄化装置で栽培）や、直営の飲食店・物産店等の売上げ等で賄っている。



▲御祓川と直営の飲食・土産店（黒い建物）